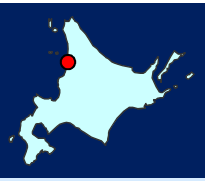
第3種 苫前漁港
（北海道苫前町）

苫前（とままえ）地区特定漁港漁場整備事業計画

留萌圏域
流通拠点



苫前地域マリンビジョン策定（モデル地域）

現状と課題

・ホタテガイ種苗生産拠点として、海象等による出漁制限が生じると韓国向けホタテガイ成貝の安定出荷が困難となるため、蓄養機能が求められている。
・イカ釣り外来船の係船岸不足により、多層係留や護岸への係留が生じており、燃料供給や物資等の積込みに支障を来している。
・船舶航行に影響する漂砂対策や越波に伴う飛砂防止が課題。

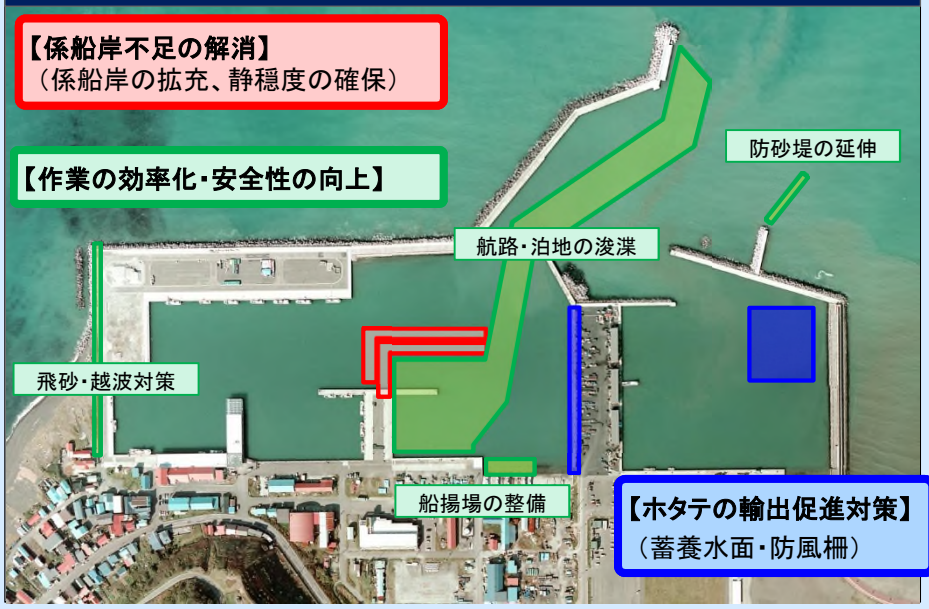
港勢 （R2港勢調査）

登録漁船：66隻
利用漁船：177隻
（内、外来漁船：111隻）
属地陸揚量：3，983トン
属地陸揚金額：13．5億円
主な魚種：ホタテガイ、スルメイカ
組合員数：42人

◎苫前漁港の役割

・道内外のホタテガイ二次生産地を支える種苗生産拠点
・武蔵堆周辺海域を主漁場とする道内外のイカ釣り漁業、小型底びき網及び沿岸漁業の流通拠点
・韓国向けホタテガイ成貝の活出荷による輸出の安定供給基地

主　要　対　策



主な整備方針

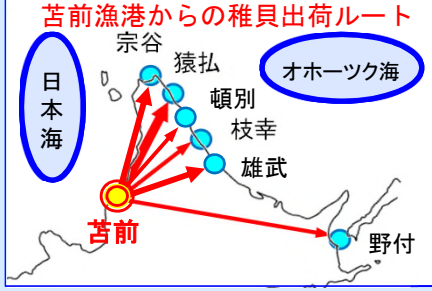
・ホタテガイの輸出促進を図るため、効率的かつ安定的な出荷を可能とする蓄養水面を整備するとともに、養殖作業の効率化・作業環境の改善を図るための防風柵の整備を行う。
・イカ釣り外来船の係船岸不足を解消するため、岸壁整備により受入れ機能を強化する。
・漁船航行の安全性の向上を図るため、航路・泊地の浚渫、防砂堤の整備を進めるとともに、飛砂・越波対策の護岸や船揚場の整備により、漁業活動の効率化を図る。

基本事項

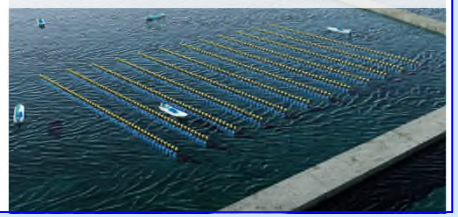
全体事業費：34．1億円
事業期間：H28～R5

主要な対策①：ホタテガイの輸出促進対策

苫前漁港からの稚貝出荷ルート



蓄養水面での一時保管が可能となり、作業の効率化と安定的な出荷が実現する



主要な対策②：外来船の係船岸不足の解消